

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公開番号】特開2013-254007(P2013-254007A)

【公開日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2012-127793(P2012-127793)

【国際特許分類】

G 03 B 9/64 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 03 B 15/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 9/64 A

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/225 B

G 03 B 15/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月3日(2015.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像開始指示後に、自動合焦処理、撮像処理の順で処理を実行する第1及び第2のセルフタイマーモードで撮像制御を実行する撮像制御部を有し、

前記第1のセルフタイマーモードにおける前記撮像開始指示から前記自動合焦処理を行うまでの第1の期間が、前記第2のセルフタイマーモードにおける前記撮像開始指示から前記自動合焦処理を行うまでの第2の期間よりも短い、撮像装置。

【請求項2】

撮像開始を前記撮像制御部に指示する操作部をさらに備え、

前記操作部は、ユーザにより撮像開始が指示される際に、ユーザが前記操作部を操作する手または腕により、筐体に配置されたレンズに入射する光が遮られる位置に設けられる、請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記操作部は、タッチパネルを備えた画像表示部である、請求項2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記画像表示部は、表示面が、前記筐体における前記レンズが設けられた方向である前面側に現れる第1の状態と、前記前面側の反対方向である背面側に現れる第2の状態とに切り替え可能である、請求項3に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記撮像制御部は、セルフタイマーモードの際に、前記画像表示部が前記第1の状態であるか前記第2の状態であるかに応じて、前記第1のセルフタイマーモードまたは前記第2のセルフタイマーモードのいずれかで撮像制御を実行する、請求項4に記載の撮像装置。

。

【請求項6】

前記撮像制御部は、セルフタイマー モードの際に、撮像開始指示時における自装置の固定状態に応じて、前記第1のセルフタイマー モードまたは前記第2のセルフタイマー モードのいずれかで撮像制御を実行する、請求項1～5のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項7】

前記撮像制御部は、セルフタイマー モードの際に、撮像開始指示時に自装置がユーザに把持されているか否かに応じて、前記第1のセルフタイマー モードまたは前記第2のセルフタイマー モードのいずれかで撮像制御を実行する、請求項1～6のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項8】

前記第2のセルフタイマー モードは、自分撮り モードであり、前記第1のセルフタイマー モードは、前記自分撮り モード以外の撮像 モードである、請求項1～7のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項9】

前記撮像制御部は、前記第1のセルフタイマー モードの際に、自動合焦処理のあと、前記第1の期間より長い期間の経過後に撮像処理を実行する、請求項1～8のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項10】

前記撮像制御部は、前記第2のセルフタイマー モードの際に、自動合焦処理のあと、前記第2の期間より短い期間の経過後に撮像処理を実行する、請求項1～8のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項11】

前記第2の期間は、設定されたタイマー時間に基づく時間である、請求項1～10のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項12】

撮像開始指示後に、自動合焦処理、撮像処理の順で処理を実行する第1及び第2のセルフタイマー モードで撮像制御を実行する撮像制御ステップを有し、

前記第1のセルフタイマー モードにおける前記撮像開始指示から前記自動合焦処理を行うまでの第1の期間が、前記第2のセルフタイマー モードにおける前記撮像開始指示から前記自動合焦処理を行うまでの第2の期間よりも短い、撮像装置の制御方法。

【請求項13】

画像表示部の表示面が、筐体におけるレンズが設けられた方向である前面側に現れる第1の状態と、前記前面側の反対方向である背面側に現れる第2の状態とに切り換え可能である、請求項12に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項14】

前記撮像制御ステップは、セルフタイマー モードの際に、前記画像表示部が前記第1の状態であるか前記第2の状態であるかに応じて、前記第1のセルフタイマー モードまたは前記第2のセルフタイマー モードのいずれかで撮像制御を実行する、請求項13に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項15】

前記撮像制御ステップは、セルフタイマー モードの際に、撮像開始指示時における自装置の固定状態に応じて、前記第1のセルフタイマー モードまたは前記第2のセルフタイマー モードのいずれかで撮像制御を実行する、請求項12～14のいずれかに記載の撮像装置の制御方法。

【請求項16】

前記撮像制御ステップは、セルフタイマー モードの際に、撮像開始指示時に自装置がユーザに把持されているか否かに応じて、前記第1のセルフタイマー モードまたは前記第2のセルフタイマー モードのいずれかで撮像制御を実行する、請求項12～15のいずれかに記載の撮像装置の制御方法。

【請求項17】

前記第2のセルフタイマー モードは、自分撮り モードであり、前記第1のセルフタイマ

ー モードは、前記自分撮りモード以外の撮像モードである、請求項 12～16 のいずれかに記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 18】

前記撮像制御ステップは、前記第1のセルフタイマーモードの際に、自動合焦処理のあと、前記第1の期間より長い期間の経過後に撮像処理を実行する、請求項 12～17 のいずれかに記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 19】

前記撮像制御ステップは、前記第2のセルフタイマーモードの際に、自動合焦処理のあと、前記第2の期間より短い期間の経過後に撮像処理を実行する、請求項 12～17 のいずれかに記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 20】

前記第2の期間は、設定されたタイマー時間に基づく時間である、請求項 12～19 のいずれかに記載の撮像装置の制御方法。

【請求項 21】

撮像開始指示後に、自動合焦処理、撮像処理の順で処理を実行する第1及び第2のセルフタイマーモードで撮像制御を実行する撮像制御ステップをコンピュータに実行させ、

前記第1のセルフタイマーモードにおける前記撮像開始指示から前記自動合焦処理を行うまでの第1の期間が、前記第2のセルフタイマーモードにおける前記撮像開始指示から前記自動合焦処理を行うまでの第2の期間よりも短い、コンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【図1】本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の外観を正面図で示す説明図である。

【図2】本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の外観を側面図で示す説明図である。

【図3】撮像者が表示部108へ指を接触させた様子を示す説明図である。

【図4】本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の機能構成例を示す説明図である。

【図5】本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の動作例を示す説明図である。

【図6】撮像装置100が有するセルフタイマーモードについて示す説明図である。

【図7】撮像装置100が有するセルフタイマーモードについて示す説明図である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

[撮像装置の動作例]

図5は、本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の動作例を示す流れ図である。図5に示した動作例は、撮像装置100でセルフタイマ撮像を実行する際の、本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の動作例を示したものである。以下、図5を用いて本開示の一実施形態にかかる撮像装置100の動作例について説明する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

なお撮像装置100は、三脚等に固定されているかどうかの判断を、状態検知部109が検知した撮像装置100の状態に基づいて判断しても良い。例えば、ジャイロセンサや加速度センサ等によって、撮像装置100が所定の時間中揺れ動いていないことが検知されると、撮像装置100は、三脚等に固定された状態であると判断し、通常撮像モードでのセルフタイマーモードを選択してもよい。逆に、ジャイロセンサや加速度センサ等によって、撮像装置100が揺れ動いていることが検知されると、撮像装置100は、手持ちの状態であると判断し、自分撮りモードでのセルフタイマーモードを選択してもよい。また撮像装置100に発光ダイオード等の発光部およびフォトトранジスタ等の光検出器を設け、三脚のカメラ台により反射された発光ダイオードからの光を光検出器で検出することにより、撮像装置100は、三脚との固定状態を検出するようにしても良い。